

パーパス&バリューズ

Purpose

私たちは「何のために存在するのか？」

パーパスとは、CASIOの存在理由。

私たちは「何を為し」、「どんな世界を目指すのか」を提示しつつ、明文化したものです。

驚きを身近にする力で、
ひとりひとりに今日を超える喜びを。

Through the power to put wonder at hand,
bring new levels of joy to lives one by one.



パーパスの 社内浸透

カシオでは、社内でのパーパス発表以降、各社員、各部門がパーパスと向き合うための取り組みを進めています。2025年度は、パーパスの「深い理解」に重点を置いた活動を開始しています。

この取り組みでは、まずパーパスを起点とした意思決定を行うトップ層の意識改革に注力。具体的には、役員を対象としたトップ層へのワークショップを

開催し、その後部門長、そして各部社員へと順を追ってパーパスの本質理解を深める機会を設けています。

これらの活動を通じて、パーパスを起点に全社一丸となって人や社会への新たな価値創造の礎を築いていきます。



トップ層ワークショップの様子

Values

パーパスの実現を目指して、社員が日々の業務に取り組む際に必要となる価値観、信条をバリューズとして決めました。

CASIO創業の精神を4つの「C」に込め、これからの未来を作る社員ひとりひとりを表す「I」とともに、5つの要素としました。

- 人の探求こそ、原点
Imagination with empathy.
- 独自の発想にこだわる
Creativity through unique thinking.
- 変革を楽しむ
Change with joy.
- 力を合わせ、実現する
Collaboration for realization.
- いかなる時も社会への貢献心を貫く
Contribution to society as our stance.

編集方針

統合報告書2025の発行にあたって



常務執行役員
ブランドコミュニケーション本部長
樫尾 隆司

本報告書は、カシオのパーパスを基点とした事業変革の進捗をマテリアリティベースで価値創造ストーリーとしてまとめています。マネジメントメッセージや各部門の取り組みに加え、特集では持続的競争力の源泉を明らかにしています。これらを通じて、カシオが中長期的な企業価値向上と持続的成長を実現していく姿をご理解いただければ幸いです。

2024年6月に策定したパーパスの下、私たちは「創造 貢献」のさらなる進化に挑み、社内外に未来への道筋を示していきます。本報告書は、その想いを発信するとともに、ステークホルダーとの建設的な対話の一助となることを目指しています。

編集にあたっては、IFRS財団の「統合思考原則」や「統合報告フレームワーク」、経済産業省の「価値協創ガイド」を参照し、カシオが目指す姿とその実現への道筋を分かりやすく伝えることを重視しました。制作は、私、樫尾隆司を編集責任者とし、サステナビリティ推進室を事務局とした体制で進め、経営企画部、IR室などの各部門との連携のもとに作成しています。

今後も、統合報告書の進化を通じて開示の透明性を高め、ステークホルダーの皆様とより良い対話を積み重ねてまいります。

報告対象範囲など

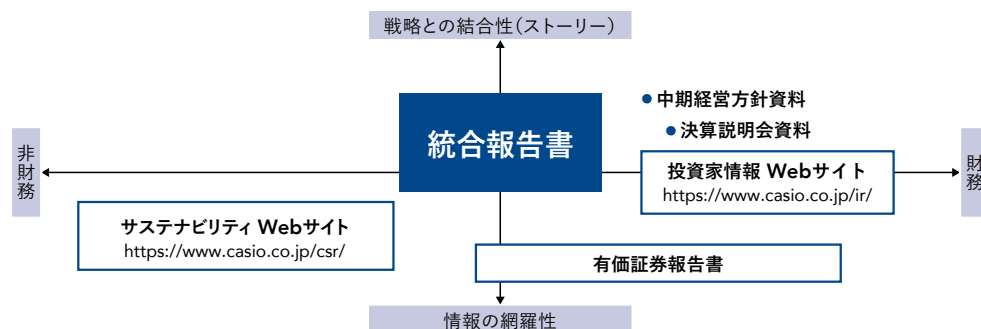
対象読者：株主・投資家を中心としたあらゆるステークホルダー

対象期間：2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日) ※一部に2025年4月以降の活動内容などを含みます

報告対象組織：カシオ計算機株式会社および国内外のグループ会社

発行時期：2025年10月

■情報開示の位置付け



見通しに関する注意事項

本報告書の業績予想に関する記述および客観的事実以外の記述に関しては、カシオが本報告書発行時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、カシオの事業を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどにかかわるさまざまな要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があることをご承知おください。

目次

- 1 パーパス&バリューズ
- 2 編集方針／目次

—— 特集：驚きを身近にするCASIOの強みと取り組み

- 3 創業以来受け継がれ、未来への原動力となる強み
- 4 独創性あふれる発想とそれを実現する技術力
- 5 ひとりひとりに寄り添う企画・マーケティング
- 6 壊れにくく、長く使える信頼性に優れた製品設計・生産
- 7 使いやすさと洗練されたデザインの調和
- 8 オンリーワンの価値を追求する人材
個人の想いをもって挑戦する文化

—— メッセージ

- 9 CEOメッセージ
- 13 会長メッセージ

—— CASIOの価値創造

- 15 価値創造の歩み
- 16 CASIOの価値創造モデル
- 17 サステナビリティ経営
- 19 財務・非財務ハイライト

マテリアリティに紐づく取り組み

—— 事業を通じた価値創造

- 21 CASIOの事業概要
- 22 時計事業の戦略
- 24 EdTech(教育)事業の戦略
- 26 サウンド(楽器)事業の戦略
- 27 新規事業の戦略

—— 「経営資本」の増強

- 28 従業員との信頼・共感関係づくり
- 30 技術・ノウハウの「深化と革新」
- 32 レジリエントなグローバルサプライチェーンの構築

—— 「経営基盤」の強化

- 33 DXの推進と情報セキュリティの強化
- 35 環境経営の強化
- 37 人権の尊重
- 39 コーポレート・ガバナンスの強化
役員一覧／取締役メッセージ／コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方／取締役会の構成／取締役会・委員会の役割／取締役会全体の実効性に関する分析・評価／取締役のトレーニング／役員報酬／政策保有株式／ステークホルダーとの対話／内部監査／リスクマネジメント／コンプライアンス

—— Data Section

- 50 11年間の財務サマリー
- 51 会社情報
- 52 株式情報